

「ならなぎ」活動（案内）報告

報告者： 武田 儀照

日時	2024年7月28日（日） 9時30分～12時00分	天候	晴れ	コース名：宝探しコース （山の日・川の日イベント）	
案内団体または催事名	奈良県、山の日・川の日企画イベント（2回目） 「奈良公園で宝物を探そう」			人数	子供：15名 大人：13名

（実施状況：リーダー、班編成、対象者の反応、質問など）

ホームページでの事前申込を、6月20日から受け付ける。

注意事項、集合時刻、場所、持ち物等を連絡する。

申込者、子供19名、保護者17名、で締め切りとしたが、前日及び当日にキャンセルがあり、子供14名、保護者13名、幼児1名の3班集体で実施した。

＜行程＞

- スタッフ14名（堀野、青木恵、玉尾ひ、高橋、澤井、青木茂、木邨、村上、古荘、玉尾洋、竹山、近野、嶋田、武田）は9:00 なら仏像館前集合。
参加者は9:30 集合
- 受付・参加費徴収の2名で出席確認と協力金@300を集め、班分けの名札を渡す。
- 9時30分頃から担当者が挨拶、リーダーの紹介。
- 9:40～なら仏像館前出発、国立博物館横の木陰で3班それぞれ自己紹介、
9:50～春日大社参道、竹のムクロジ辺りでムクロジの話、浅茅ヶ原御旅所前辺りで鹿の話、
10:05～悠久の杜でディアーライン・イラクサの話、トイレ休憩、水分補給
10:20～飛火野でどんぐりの話、クスノキと洞の話、セミの抜け殻探し、林縁でフジの話
10:40～雷の落ちた木の話、スジエビ捕り、水分補給
11:20～小川の南側の林を通り、ルリセンチコガネを探す場所へ移動
11:30～ルリセンチコガネ探し
11:50～ならなぎ代表による挨拶とお土産の説明。お土産は「くるくるヤジロベ」。
12:00 終了。ストラップの回収、参加者にアンケートを記入してもらった後、解散。

＜子供の感想＞

- エビ採り、川遊びに夢中になって楽しかったです。
- スジエビがたくさんとれて楽しかった。
- 楽しかったです。特に虫探し。
- ぼくはルリセンチを見つけられなかったけど、また見つけたい。
- 非常に面白かったです。奈良公園内の日頃気にかけていないことも知ることができた。いろいろな植物や動物を見られてうれしかったと言ってます。
- ルリセンチコガネを見つけられなくてくやしかった。雷の落ちた木をくぐってかしこくなった気がした。川のエビとりが楽しかった。
- 楽しかった。川に入れたのが面白かったです。
- スジエビを見つけられてうれしかったです。
- エビ探し楽しくて、見つけたときはうれしかった。
- つかれたけど楽しかった。
- つかれたけどルリセンチコガネを見られてうれしかった。

＜保護者の感想＞

- 奈良公園の自然について、普段気にしていなかったことも初めて知れてよかったです。小川やナンキンハゼなど。
- 知らなかった奈良を知ることができ楽しかったです。

- ・親の知らない、説明できないことも学べてよかったです。
- ・奈良公園の普段気づかない木、草、生き物に触れることができて楽しかったです。子供と一緒にスジエビ探し再チャレンジしたいです。
- ・知らなかったことをたくさん聞かせていただいたり、大人も初めてのものを見せてもらったりでき、楽しめました。ありがとうございました。
- ・子どもが楽しく奈良公園について学ぶことができたと思います。日頃見えない子どもの様子を伺えました。ありがとうございました。
- ・普段昆虫ばかり見つけていたりしていたので植物のことや鹿のことも学べてよかったです。大人もへえーとなるような知識が多かったです。暑い中色々教えていただいてありがとうございました。
- ・暑かったですが、子どもは楽しんでいましたので、参加してよかったです。スタッフの皆さんありがとうございました。
- ・なかなか子どもと3時間も森の中で遊べる機会はなく、非常に貴重な体験をさせていただきました。
- ・昨年も参加させてもらって楽しかったので今年も参加しました。気持ちよく楽しかったです。ありがとうございました。

＜スタッフの感想＞

- ・参加者は前回同様熱心に宝探しを楽しんでくれたと思う。今回は発熱のためのキャンセルが4人もあったので残念だった。
- ・前回より進行について行けない子たちがいました。2班の子はかなり遅れていて付き添い、班に追いつきました。両日で37名の申し込みが結果は30名と多くの欠席者が発生しました。
コロナも増加傾向であり、結果が願けます。3日で定員に達し、その後は受付しなかったため、エントリーできなかった方が多くおられたと思うので、定員の枠を増やした方が良いと思います。
- ・今回も猛暑でしたが、熱中症にならずに何とか無事に終わることができました。筋エビを今回は始まる前に60匹捕る事ができたが、容器が小さいために10匹死なせてしまいました。スジエビは3地点のうち上流部分に集中しているので、今回は場所を再考したいと思います。
- ・暑い中、一人も熱中症やけが人もなく、無事終えられて本当に良かった。子供達は、昆虫を見つけるのが非常にうまく、カミキリムシ、玉虫、小さなルリセンチュウ等我々大人の目では見つけられないものを、見つけて来る感受性には驚きました。そして子供たちとの会話は「感じたことを素直に言う！」天真爛漫でとても楽しかった。今回の山・川の日に参加協力頂いた皆様、大変有難うございました。
- ・子供たちは素直で「奈良公園の宝物」をたくさん見つけ一緒に回っていて楽しかった。
興味がいろんなところに向いている子をリーダーはうまくまとめ、臨機応変に対応されていた。
山の日川の日スタッフは、それぞれの分野で皆さんベテランだなと思った。
- ・熱中症警戒アラートがでているので暑さが心配だったが曇り空で暑さはましに感じた。参加者が2名キャンセルになり四名で宝さがしをした。話をよく聞いてシールを貼り、スジエビとりを楽しんでくれたと思う。ただルリセンチュウコガネさがしでは死骸や羽をみつけた子がいたが生きたのは見つけられなかった。最後に見本のルリセンチュウコガネと一緒に写真を撮ってもらって満足したようだった。早朝から見本の糞虫の捕獲やスジエビの捕獲、準備物の作成などスタッフの皆さまのご協力に感謝しています。
- ・ならなぎとしては、ムクロジの不思議、ドングリのお話、イラクサの怖さ、セミやムササビのこと等、伝えたいことがいっぱいあります。でも子供たちは、スジエビやルリセンチュウコガネを追いかけることが一番楽しそうです。実際、スジエビやルリセンチュウコガネならリーダーの仕事は楽なのですが・・・。今日の子供たちは、リーダーの話を良く聴いて理解しようとしていました。堀野リーダーは話上手で、子供の好奇心をうまく引き出されていました。ならなぎのこれまでの手法も“宝物”だと、改めて思いました。しかし、熱中症を避けるためには、お話を簡潔にして、時短につなげようという意見には賛成です。これからも子供たちの楽しい夏休みの思い出つくりのために、知恵を絞って考える必要があると感じました。
- ・迷走しました。サブや周りのスタッフの方々のホローのお陰でなんとか無事終了しましたが自身は消化不良(涙)。楽しかった。オモシロかった・・・だけでは終われない時期に来ている？私たちは、自然は当たり前にあるものでなく、守らなければならない時代を生きているから、楽しさ、面白さに加え、宝ものがいっぱいの宝箱そのものを大切にするには・・・と+αメッセージを組み入れなアカンのに出来ずじまい、難しいなァとため息が出てきます。 皆さん、お知恵をおかし下さい。

- ・前回より暑くなりそうということで心配しましたが、子どもさんたちも保護者の方々もスタッフも元気でプログラムを終了できてほっと致しました。でも厳しい暑さでしたね。到着した時から足が痛いから座りたいとぐずっている子どもさんや3歳の子どもさんが保護者と一緒に参加されましたが、リーダーさんの楽しいお話や声かけで最後まで楽しく参加でき良かったです。保護者の方も熱心にお話を聞いて下さり一緒に活動してくださいました。ルリセンコガネはやはり見つからず、スジエビもとれなかった子もいましたが、自然環境の変化などで見つかりにくくなっていることを知ってもらう機会にはなったのではないかと思います。「また別の日にチャレンジします。」と話して下さった保護者や子どもさんもいました。「ルリセンコガネ」や「スジエビ」が住みやすい自然を取り戻そう！という気持ちにつながたいなあと思います。子どもの意見や発見からうまく案内を広げられる高橋リーダーからたくさん学ばせていただきました。ありがとうございました。
- ・猛暑の中、熱中症になる人もなく無事終了して安心しました。ルリセンコガネは、見つけることができませんでしたが、朝早くからとりに行ってお下り、参加者に実物を見せることができ良かったです。しかし、今後の大きな課題だと思います。
- ・参加の子供達は暑さに負けず、最後までリーダーの方の話をしっかり聞き行動していました。またリーダーの方は、子供達が興味を持つよう色々工夫されていました。ルリセンコガネが見つからなかったが最後本物を見て触ることができたので、うれしそうです。スジエビ・ルリセンコガネを準備してお下り有り難うございました。年々暑くなるので、コースの再検討をする必要があるように思います。
- ・開催日前から酷暑日の連続で、子どもたちはじめ我々スタッフも健康面が心配されましたが、無事に終わることができて良かったです。初めてリーダーをさせていただきました。前日まで不安ばかりのっていましたが、子どもたちは真剣な眼差しで、よく集中して話を聞いてくれました。終わってみると、私自身が子供たちから「宝物」を貰った気持ちになりました。青木さんが用意してくださった提示用の準備物、前日、早朝からのルリセンコガネの採取、スジエビ取りの準備等一丸となったスタッフの結束、今回も心にしみました。9歳の男児3名、6歳の男児1名の構成でしたが、年少さんには難しかったようです。途中から親御さんに甘える場面が見受けられました。4人そろっての説明ができなくなり、はてどうしたものかと思いました。でもスジエビ採りになると、親子で夢中になって楽しんでくれていたので安心しました。最後のところでルリセンコガネを手のひらにのせてあげると、虫好きの男の子に戻り安堵しました。猛暑のなかの実施、こども自身がルリセンコガネを見つけたことがほぼ不可能であることなど、来年度に向けてなんとか課題の解決方法を見つけなくてはと思いました。
- ・猛暑の中 スタッフも参加者もお疲れ様とおもうばかりです。子どもたちが楽しそうに参加する姿に元気をもらいました。保護者の適度な見守りにも感心しました。子どもたちが奈良公園の自然から学ぶ経験は大切でとても良い催しだと思います。ただ、ルリセンコガネの採集は用意するお手間をお聞きして大変なことだと思います。

(所感・雑感・反省点、申し送り事項など)

- ・飛火野の小川でタマムシを捕まえた子がいた。最近では珍しい。
- ・「雷のクスノキの中に恐竜が隠れている 見つけると幸せになる」と言ってる人がいたが、よく見ると少し落書きがある。落書きがなければ面白いのにと思った。
- ・熱中症特別警戒アラート、熱中症警戒アラートについて山の日・川の日メンバーでも検討する。

会計報告

【収入】運営協力金：300円×14人＝4200円

【支出】活動費：スタッフ14名（上記）×1,000円＝14,000円

保険代：28円×60人＝1680円（嶋田）

台紙コピー代（カラー）35円×15×2（7/21・7/28分）＝1050円（青木）

アンケート用紙コピー代（カラー）35円×15人×2（7/21・7/28分）＝1050円（青木）

材料運搬駐車場 2000円×2（7/21・7/28分）＝4000円（青木）